

赤潮情報の発信基準[目安]

長崎県総合水産試験場 漁場環境科
平成31年4月24日

警戒 餌止めの励行、生簀移動、粘土散布

注意 ①プランクトンの動向に注意し、餌止め、生簀移動、粘土散布の実行および準備
②淡水浴、薬浴、喰わせ込みを控える

赤潮プランクトン	情報発信基準値 (cells/mL)		増殖適水温(°C) (最適水温)
	警戒を要する	注意を要する	
シャットネラ アンティーカ <i>Chattonella antiqua</i>	10	1	20~32.5(25~30)
シャットネラ マリーナ <i>Chattonella marina</i>	10	1	20~32.5(25~30)
シャットネラ オバータ <i>Chattonella ovata</i>	100	10	15~32.5(25~30)
カレニア ミキモトイ <i>Karenia mikimotoi</i>	500	100	12.5~30(25)
カレニア デイジタータ <i>Karenia digitata</i>	100	10	17~23(出現時)
コクロディニウム ポリクリコイデス <i>Cochlodinium polykrikoides</i>	500	50	17~30(25~27.5)
コクロディニウム エスピー カササガタ <i>Cochlodinium sp. type-Kasasa</i>	500	50	17~30(27~28)
ヘテロシグマ アカシオ <i>Heterosigma akashiwo</i>	10,000	1,000	15~30(15~25)
ヘテロカプサ サーキュラーリスカーマ <i>Heterocapsa circularisquama</i>	50	10	15~30(30)
ディクチオカ <i>Dictyocha</i> 藻	400	40	15~30(出現時)

* *C. antiqua*, *C. marina*の情報発信基準は、魚類対象

* *H. circularisquama*の情報発信基準は、貝類対象

* マグロに関して、情報発信基準値 (cells/mL) は1/10を乗ずるものとする。

* 珪藻類の増殖による透明度の低下がみられた場合には、給餌を控える。

* 浮遊物がみられ、餌食いが悪い場合には、給餌を控えるとともにサンプルを採取し、粘質状浮遊物であるか否かを確認する。

* 粘質状浮遊物が多くみられた場合には、酸素消費を抑えるため、餌止めを励行し網掃除等を控え、魚を安静に保つ。

* *Dictyocha* 藻 (*Octactis octonaria* オクタクティス オクトナリア、*Vicicitus globosus* ヴィシットゥス グロボス)